

2014年7月2日

教養学部報

第567号 第2面

小林俊行さんの業績を顕彰してこのたび紫綬褒章が授与されたとお聞きし、小林さんのお仕事が専門の枠でどうござります。

小林俊行さんの紫綬褒章 ご受章に寄せて

古田幹雄

小林さんが研究をされて超えて認知され、あるべき姿として評価されたことを見抜いています。おめでとうございます。

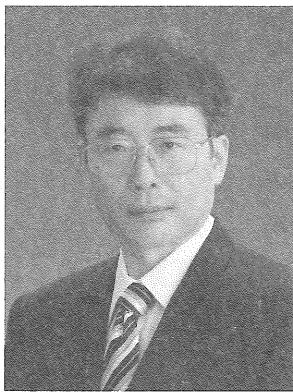
小林さんは純粹数学と呼ばれる分野は純粹数学と呼ばれています。しかし、振り返ると、自然界的法則は数学の言葉で書かれており、工学的な機構も数学的メカニズムとして把握可能です。むしろイデアの世界が現実の世界から問うことがあり意味をもたないような広大な領野があり、そこで繰り広げられる現象を日々相手にしている、というと、数学の研究者たちの実感により近いかもしれません。そこには確かに不可思議な現象があり、予測されない謎めいた痕跡が見られ、陰路を幾重にもぐった先に初めて見晴らかすことができるのはあります。かつて、レーヴェンフックが自作の顕微鏡を携えて身の回りの対象に好奇の目を向けたそのとき、微生物学という学問そのものが誕生しました。そして小林さんが自身の持つ、微積分と線形代数と幾何学の基礎的かつ強靭な力を以て、解析・代数・幾何にまたがる「対称性」と連続性の現象に、静かに

を超えて認められ、あるべき姿として評価されたことを喜ばしく思います。おめでとうございます。

小林さんが研究をされて超えて認められ、あるべき姿として評価されたことを喜ばしく思います。おめでとうございます。

小林さんは数学の一部、小林さんが二十代で創始した「人真似でない何かを創造したい」と思ってから千年ほど経った、二十五歳のときでした。

(小林俊行「学術月報」二〇〇七年五月号)



小林さんの数学の一部、小林さんが二十代で創始した「人真似でない何かを創造したい」と思ってから千年ほど経った、二十五歳のときでした。

(小林俊行「学術月報」二〇〇七年五月号)

小林さんの数学の一部、小林さんが二十代で創始した「人真似でない何かを創造したい」と思ってから千年ほど経った、二十五歳のときでした。

(小林俊行「学術月報」二〇〇七年五月号)

小林さんは、学生のひとりひとりを尊重され、常に人間としての敬意をもって接する方でもあります。この「教養学部報」の読者の中にも思い当たる方がいました。見たところ、高校を卒業したばかりの私にとって、優れた学

小林さんは、学生のひとりひとりを尊重され、常に人間としての敬意をもって接する方でもあります。この「教養学部報」の読者の中にも思い当たる方がいました。見たところ、高校を卒業したばかりの私にとって、優れた学

の深い造詣や何か新しいものを作り出そうとする心意気を感じました。心に残る最高の先生で、ウェブ検索すると